

Respiratory Syncytial virus Primer/Probe Mix

Code No. RC501A

容量： 50 回
(25 μ l 反応系)

● 内容

● RSV Primer/Probe Mix 10 \times 125 μ l

● 検出対象遺伝子とプローブ標識

検出対象遺伝子	プローブ標識
RS ウイルス M 遺伝子	FAM/Dark Quencher

● 形状 TE バッファー

● 保存 - 20 $^{\circ}$ C

● 使用例

One Step PrimeScript[™] III RT-qPCR Mix, with UNG (製品コード RR601A/B) と組み合わせて使用する場合の例を以下に示す。詳細はリアルタイム PCR 試薬の取扱説明書を参照のこと。

1. 反応液調製

One Step PrimeScript III RT-qPCR Mix, with UNG (2 \times)	12.5 μ l
RSV Primer/Probe Mix (10 \times)	2.5 μ l
ROX Reference Dye II*1	0.5 μ l
滅菌精製水	7.5 μ l
RNA サンプル*2	2.0 μ l
<hr/>	
Total	25 μ l

* 1: ROX で蛍光強度の補正を行うリアルタイム PCR 装置を使用する場合に添加する。不要な場合は、代わりに滅菌精製水を 0.5 μ l 添加する。

* 2: 精製 RNA を使用する。

2. PCR 条件

<逆転写反応>

(25 $^{\circ}$ C 10 分)*3
52 $^{\circ}$ C 5 分
95 $^{\circ}$ C 10 秒

<2 step PCR: 45 サイクル>

95 $^{\circ}$ C 5 秒
60 $^{\circ}$ C 30 秒 (FAM/(ROX)*4) 検出

* 3: PCR 産物によるコンタミネーションが疑われる場合には、UNG 処理のため、25 $^{\circ}$ C 10 分のステップを実施する。

* 4: ROX Reference Dye II を使用した場合に設定する。

● 使用に際して

Primer/Probe の配列内に遺伝子の変異や欠損/挿入が生じた際には、検出できない場合があります。(反応結果により発生する問題に関して、タカラバイオ株式会社は一切の責任を負いません。)

● 参考文献

- 1) 国立感染症研究所「病原体検出マニュアル ヒトオロソニューモウイルス (RS ウイルス) 令和 4 年 8 月改定 第 3.0 版」
- 2) Fry Alicia M. *et al.*, "The burden of hospitalized lower respiratory tract infection due to respiratory syncytial virus in rural Thailand." *PLoS One* (2010) 5(11): e15098.

● 関連製品

Respiratory Syncytial virus Positive Control RNA (製品コード RC601A)

PrimeScript はタカラバイオ株式会社の商標です。

● 注意

本製品は研究用として販売しております。ヒト、動物への医療、臨床診断用には使用しないようご注意ください。また、食品、化粧品、家庭用品等として使用しないでください。
タカラバイオの承認を得ずに製品の再販・譲渡、再販・譲渡のための改変、商用製品の製造に使用することは禁止されています。
ライセンスに関する情報は弊社ウェブカタログをご覧ください。
本データシートに記載されている会社名および商品名などは、各社の商号、または登録済みもしくは未登録の商標であり、これらは各所有者に帰属します。

v202301Da

タカラバイオ株式会社

ウェブサイト <https://www.takara-bio.co.jp>

製品についての技術的なお問い合わせ先

テクニカルサポートライン

Tel 077-565-6999

Fax 077-565-6995